

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和5年2月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和5年2月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 大気質)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	2月1日~28日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 水質(一般項目))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	2月16日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

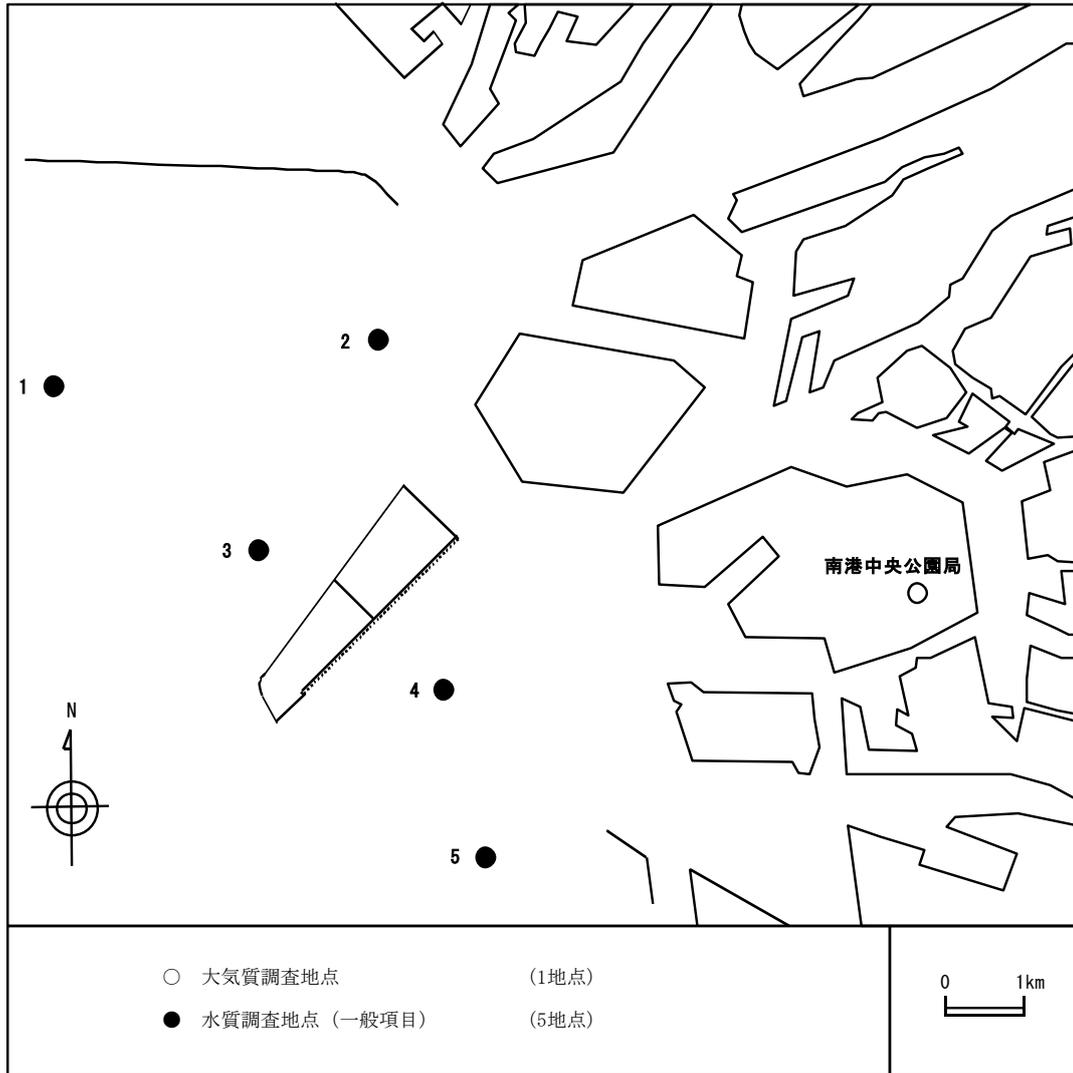
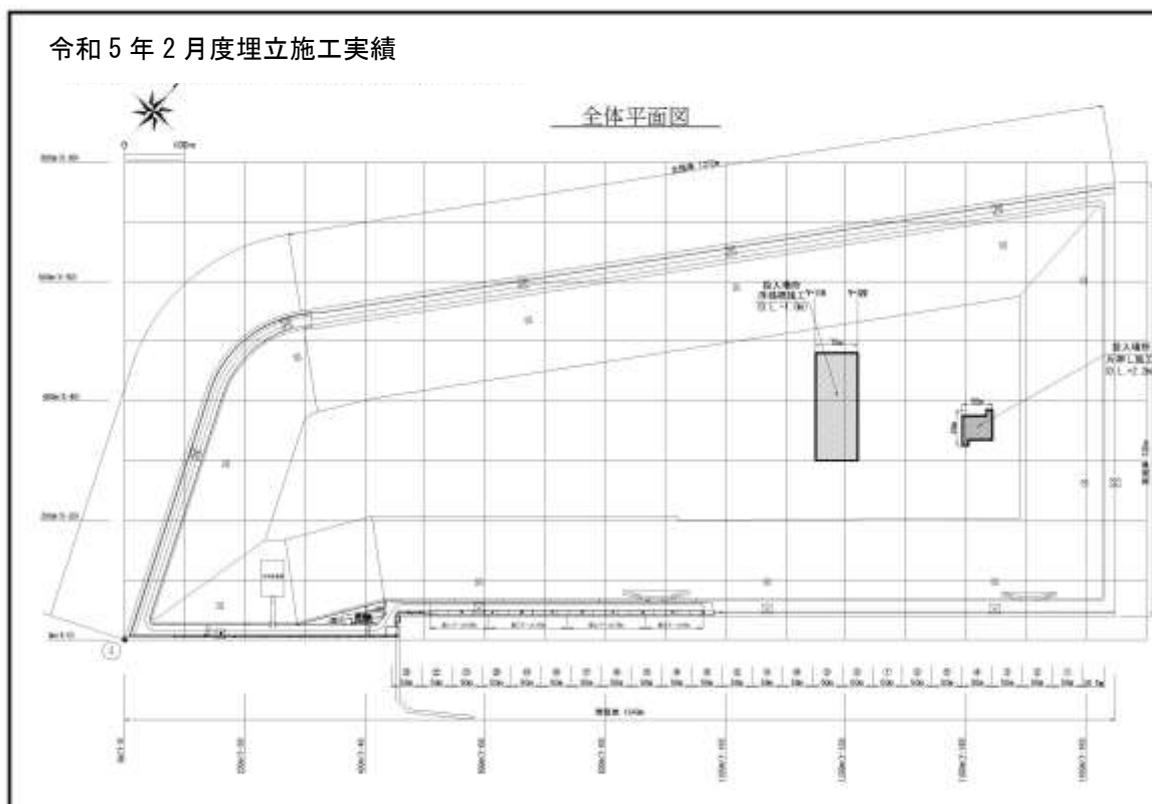


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

令和5年2月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
6,978,135	49.9

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.002ppmであった。また、日平均値の最高値は0.004ppm、1時間値の最高値は0.008ppmであり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.024ppmであった。また、日平均値の最高値は0.043ppmであり、環境基準値の範囲内であった。なお、日平均値 0.04～0.06ppmのゾーン内の基準適合が4日あった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.014mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.029mg/m³、1時間値の最高値は0.051mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.1～8.2、下層ではいずれも8.1であり、全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.9～3.5mg/L、下層で1.9～2.6mg/Lの範囲にあり、上層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2、3 (3.3mg/L)、調査地点 4 (3.2mg/L)、調査地点 5 (3.5mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成12年度）は上層で1.6～4.9mg/Lであり、いずれもこの範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で9.6～10mg/L、下層で8.9～9.2mg/Lの範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg /L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.22~0.52mg/L、下層で 0.13~0.16mg/L の範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

5) 全磷 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全磷 (T-P) は上層で 0.027~0.051mg/L、下層で 0.023~0.036mg/L の範囲にあり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 4 (0.051mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1~2 度(カリン)、下層でいずれも 1 度(カリン)であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 2~3mg/L、下層で 1~2mg/L の範囲にあった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 6.3~9.0µg/L、下層で 1.3~3.4µg/L の範囲にあった。

《 参考 》

■環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。

なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [令和5年2月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	28
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	667
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	28
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	4
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	668
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	28
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	666
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和5年2月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.004	0.006
	2 (木)	0.002	0.003
	3 (金)	0.003	0.004
	4 (土)	0.004	0.006
	5 (日)	0.003	0.004
	6 (月)	0.004	0.008
	7 (火)	0.004	0.005
	8 (水)	0.002	0.005
	9 (木)	0.001	0.003
	10 (金)	0.001	0.002
別	11 (土)	0.001	0.002
	12 (日)	0.003	0.004
	13 (月)	0.001	0.003
	14 (火)	0.001	0.001
	15 (水)	0.001	0.001
	16 (木)	0.000	0.001
	17 (金)	0.002	0.005
	18 (土)	0.002	0.007
	19 (日)	0.001	0.002
	20 (月)	0.002	0.004
値	21 (火)	0.001	0.002
	22 (水)	0.002	0.003
	23 (木)	0.003	0.006
	24 (金)	0.002	0.004
	25 (土)	0.001	0.002
	26 (日)	0.000	0.001
	27 (月)	0.003	0.005
	28 (火)	0.003	0.005
有 効 測 定 日 数 (日)		28	
測 定 時 間 (時間)		667	
月 平 均 値 (ppm)		0.002	
日平均値の最高値 (ppm)		0.004	
1時間値の最高値 (ppm)		0.008	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和5年2月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.045	0.140
	2 (木)	0.003	0.008
	3 (金)	0.017	0.070
	4 (土)	0.025	0.106
	5 (日)	0.003	0.013
	6 (月)	0.024	0.084
	7 (火)	0.021	0.059
	8 (水)	0.011	0.064
	9 (木)	0.004	0.023
	10 (金)	0.012	0.046
別	11 (土)	0.001	0.004
	12 (日)	0.006	0.025
	13 (月)	0.007	0.023
	14 (火)	0.002	0.007
	15 (水)	0.003	0.008
	16 (木)	0.003	0.007
	17 (金)	0.025	0.086
	18 (土)	0.030	0.072
	19 (日)	0.004	0.022
	20 (月)	0.003	0.009
値	21 (火)	0.004	0.010
	22 (水)	0.005	0.012
	23 (木)	0.004	0.013
	24 (金)	0.025	0.078
	25 (土)	0.002	0.011
	26 (日)	0.000	0.001
	27 (月)	0.022	0.122
	28 (火)	0.031	0.117
有 効 測 定 日 数 (日)		28	
測 定 時 間 (時間)		668	
月 平 均 値 (ppm)		0.012	
日平均値の最高値 (ppm)		0.045	
1時間値の最高値 (ppm)		0.14	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果〔令和5年2月分〕

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)	
日	1 (水)	0.041	0.052	
	2 (木)	0.016	0.026	
	3 (金)	0.035	0.049	
	4 (土)	0.028	0.043	
	5 (日)	0.022	0.047	
	6 (月)	0.040	0.057	
	7 (火)	0.041	0.051	
	8 (水)	0.022	0.053	
	9 (木)	0.018	0.042	
	10 (金)	0.027	0.042	
	11 (土)	0.011	0.020	
	12 (日)	0.024	0.052	
	13 (月)	0.026	0.051	
	14 (火)	0.011	0.023	
	15 (水)	0.008	0.016	
別	16 (木)	0.015	0.029	
	17 (金)	0.034	0.052	
	18 (土)	0.043	0.054	
	19 (日)	0.019	0.031	
	20 (月)	0.015	0.036	
	21 (火)	0.012	0.019	
	22 (水)	0.024	0.044	
	23 (木)	0.023	0.038	
	24 (金)	0.039	0.047	
	25 (土)	0.011	0.030	
	値	26 (日)	0.006	0.011
		27 (月)	0.033	0.055
		28 (火)	0.037	0.050
有効測定日数 (日)		28		
測定時間 (時間)		668		
月平均値 (ppm)		0.024		
日平均値の最高値 (ppm)		0.043		
1時間値の最高値 (ppm)		0.057		
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0		
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0		
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0		
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		4		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和5年2月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (水)	0.085	47.7	0.184
	2 (木)	0.020	83.6	0.034
	3 (金)	0.051	67.7	0.115
	4 (土)	0.053	53.5	0.144
	5 (日)	0.025	88.3	0.060
	6 (月)	0.064	62.6	0.122
	7 (火)	0.062	66.2	0.103
	8 (水)	0.034	66.6	0.117
	9 (木)	0.022	81.2	0.065
	10 (金)	0.039	69.6	0.085
別	11 (土)	0.011	93.0	0.022
	12 (日)	0.029	80.5	0.077
	13 (月)	0.034	78.5	0.061
	14 (火)	0.013	82.7	0.028
	15 (水)	0.011	75.9	0.024
	16 (木)	0.018	84.8	0.030
	17 (金)	0.059	57.3	0.126
	18 (土)	0.072	58.9	0.114
	19 (日)	0.023	84.1	0.053
	20 (月)	0.017	84.7	0.044
値	21 (火)	0.016	77.5	0.027
	22 (水)	0.029	83.4	0.050
	23 (木)	0.028	84.3	0.049
	24 (金)	0.064	60.9	0.119
	25 (土)	0.013	85.9	0.041
	26 (日)	0.006	93.2	0.012
	27 (月)	0.054	60.4	0.172
	28 (火)	0.068	54.9	0.159
有効測定日数 (日)		28		
測定時間 (時間)		668		
月平均値 (ppm)		0.036		
日平均値の最高値 (ppm)		0.085		
1時間値の最高値 (ppm)		0.184		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		66.8		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和5年2月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (水)	0.021	0.035
	2 (木)	0.012	0.017
	3 (金)	0.016	0.026
	4 (土)	0.022	0.039
	5 (日)	0.013	0.028
	6 (月)	0.022	0.032
	7 (火)	0.021	0.040
	8 (水)	0.016	0.032
	9 (木)	0.009	0.015
	10 (金)	0.010	0.019
別	11 (土)	0.006	0.016
	12 (日)	0.009	0.018
	13 (月)	0.012	0.024
	14 (火)	0.006	0.010
	15 (水)	0.003	0.005
	16 (木)	0.005	0.011
	17 (金)	0.017	0.032
	18 (土)	0.029	0.038
	19 (日)	0.022	0.046
	20 (月)	0.017	0.036
値	21 (火)	0.005	0.010
	22 (水)	0.008	0.017
	23 (木)	0.018	0.029
	24 (金)	0.027	0.047
	25 (土)	0.011	0.020
	26 (日)	0.007	0.011
	27 (月)	0.014	0.024
	28 (火)	0.023	0.051
有 効 測 定 日 数 (日)		28	
測 定 時 間 (時間)		666	
月 平 均 値 (mg/m ³)		0.014	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.029	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.051	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[令和5年2月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (水)	0.8	1.9	NW, WNW	WNW
	2 (木)	1.4	3.2	NNE	NNW
	3 (金)	0.6	0.9	NNW, SE	SE
	4 (土)	1.2	4.6	WSW	W
	5 (日)	0.9	2.1	W, WNW	WNW
別	6 (月)	0.9	2.6	WNW	NNE
	7 (火)	0.8	1.8	WSW	E
	8 (水)	1.4	3.1	W	NW
	9 (木)	1.3	2.0	NE	NNE
	10 (金)	1.2	2.0	NNE	NE
	11 (土)	1.1	1.8	N, NW	N
	12 (日)	0.9	1.8	SSW	NE
	13 (月)	1.2	2.3	NW	N
	14 (火)	2.1	3.7	NW	NW
	15 (水)	2.0	2.9	NW	NW
	16 (木)	1.0	2.7	NW	NW
	17 (金)	0.8	2.3	SW	SW
	18 (土)	0.7	1.7	N	NE
19 (日)	1.6	4.7	WNW	WNW	
20 (月)	2.7	5.2	W	WNW	
値	21 (火)	2.1	4.1	NW	NW
	22 (水)	1.1	2.2	E	NW
	23 (木)	0.9	2.2	ESE	ESE
	24 (金)	0.6	1.9	ESE	SE
	25 (土)	1.4	2.8	N	N
	26 (日)	1.4	3.0	NW	NW
	27 (月)	1.1	4.0	WNW	WNW
	28 (火)	1.2	3.1	WNW	WNW
測定時間（時間）		672			
月平均風速（m/s）		1.2			
月最大風速（m/s）		5.2			
月最多風向（16方位）		NW			

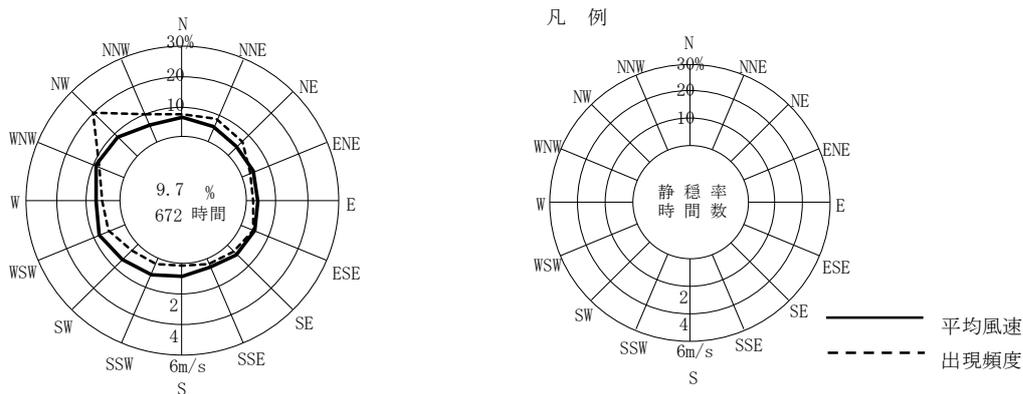
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和5年2月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	56	46	24	18	29	19	11	5	11	16	33	34	57	132	66	50	65	672
頻度 (%)	8.3	6.8	3.6	2.7	4.3	2.8	1.6	0.7	1.6	2.4	4.9	5.1	8.5	19.6	9.8	7.4	9.7	-
平均風速 (m/s)	1.1	0.9	0.9	0.8	1.0	0.8	0.6	0.8	1.1	1.3	1.6	1.4	1.9	1.7	1.2	1.3	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和5年2月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和5年2月分〕

調査日：令和5年2月16日

項目	調査点	1	2	3	4	5	最小値 ~ 最大値		平均値
	時刻		8:46	8:20	8:35	9:32	9:46	-	
透明度	[m]	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	~ 4.0	3.8
水温	[°C]	9.5	9.3	9.0	9.3	9.1	9.0	~ 9.5	9.2
		10.1	10.4	10.4	10.2	10.3	10.1	~ 10.4	10.3
塩分	[-]	32.0	30.7	30.1	31.0	30.7	30.1	~ 32.0	30.9
		32.6	32.3	32.3	32.1	32.3	32.1	~ 32.6	32.3
濁度	[度(カリン)]	1	2	1	1	1	1	~ 2	1
		1	1	1	1	1	1	~ 1	1
浮遊物質 (SS)	[mg/L]	2	3	3	3	3	2	~ 3	3
		2	1	2	2	2	1	~ 2	2
水素イオン濃度 (pH)	[-]	8.2	8.2	8.2	8.1	8.2	8.1	~ 8.2	-
		8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	~ 8.1	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]	2.9	3.3	3.3	3.2	3.5	2.9	~ 3.5	3.2
		1.9	2.3	1.9	2.6	2.0	1.9	~ 2.6	2.1
溶存酸素量 (DO)	濃度	10	9.6	9.8	9.7	10	9.6	~ 10	9.8
	[mg/L]	9.2	8.9	8.9	9.0	9.2	8.9	~ 9.2	9.0
	飽和度	108	102	103	103	106	102	~ 108	104
		[%]	101	98	98	98	101	98	~ 101
全窒素 (T-N)	[mg/L]	0.22	0.38	0.47	0.52	0.41	0.22	~ 0.52	0.40
		0.13	0.14	0.13	0.14	0.16	0.13	~ 0.16	0.14
全磷 (T-P)	[mg/L]	0.027	0.043	0.046	0.051	0.047	0.027	~ 0.051	0.043
		0.023	0.030	0.028	0.036	0.027	0.023	~ 0.036	0.029
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]	7.7	7.3	6.3	6.5	9.0	6.3	~ 9.0	7.4
		1.5	1.4	1.3	3.4	1.4	1.3	~ 3.4	1.8

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項